

令和 2年度 柏原市自立支援協議会こども部会 年間活動実績

資料4-4
こども

	項目	内容
6月 30日	部会	感染防止のため、中止
6月 11日	コア会議	令和2年度の子ども部会の活動について協議
8月 19日	コア会議	8/21の就学説明会の打合せ
8月 21日	就学説明会	柏原市内の年少・年中を持つ保護者の中で、支援学校・支援学級・通級指導教室を検討している方に対して、就学に向けての説明会を実施。23組のご家族が参加
9月 29日	部会	令和2年度子ども部会の事業計画の確認と、『コロナ禍での困りごとや工夫』といったテーマで小グループによるワークを実施。
10月 16日	コア会議	10/22の就学前座談会の打合せ
10月 22日	就学前座談会	柏原市内の年少・年中を持つ保護者の中で、支援学校・支援学級・通級指導教室を検討している方に対し、すでに子どもが就学して支援学級等を使っている保護者が『先輩ママ』としてグループに分かれて学校の様子を伝える機会を設けた。8人の母親が参加。
12月 4日	事業所取り組み 紹介	感染防止のため、中止
2月	事業所見学会	感染防止のため、中止
2月 22日	部会	感染防止のため、中止

2020年度
Plan（計画）

子ども 部会

No	困りごと（事象）		原因 （分析）	どうやったらクリアできるか （仮説）	具体的な取り組み			評価 予定時期
	内容	誰が			誰が	いつ	どうやって	
子1501	18歳になると、放デイが使えなくなり、生活介護就Bなどが終わった後のサービスがなく、親がフルタイムで働けない。	親（家族） 支援者	・生活介護等の営業時間が短い（15時頃に終わる） ・大人対象のタイムケア事業がない	・大人対象のタイムケアを創設 ・生活介護等の利用時間延長とそれに伴う必要な職員配置基準の見直し	くらし部会	2015年度	具体的に検討し直す	クリア（終了）
子1502	進学やサービス利用の際に同じ内容の成育歴をそのたびに話さなければならない。	親（家族） 支援者	・年齢ごとに関わる機関が変わり、一貫して支援できる仕組みがない	・相談支援ファイルを作成する ・分野を越えた関係機関のネットワークを構築する	子ども部会	2015年度	相談支援ファイルかしわらっこ作成	クリア（終了）
子1503	障害児が思い切り遊べる場所がない。	本人	・市内に広い公園がない ・園庭のある療育施設がない	・廃園、廃校になった幼稚園や小学校、企業の運動場や体育館を借りる	子ども部会	2015年度	教育委員会への打診	クリア（終了）
子1504		親（家族）			障害福祉課 教育委員会	2015年度	行政間での調整	クリア（終了）
子1505	各種検診で該当する児が出て、その後に療育を十分に受ける体制が整っていない。	親（家族）	・子どもの障がいを受容できない ・親が理解しても親族が受容できない	・乳幼児健診受診の積極的受診 ・相談機関の利用	子ども部会	2015年度	資源マップの作成	クリア（終了）
子1506		支援者	・親の障がい受容に見極めが困難 ・各担当部署だけでは、年齢による経過を追えない	・中核的な療育を担う場所の創設	障害福祉課	2017年度	行政計画へ反映	2017年度末
子1507	通院、通学の送迎がなくて困っている。	本人	・送迎バスに看護師が乗っていない為医療的な行為ができない	・医療職がバスに添乗できるようになる	障害福祉課 教育委員会	2016年度	協議の場を持つ	2016年度末
		親（家族）	・親が車を運転できるなど毎日通学に対応できなければならない	・公的サービスが充実する				
子1508		支援者	・移動支援で通園・通学が認められていない（この判断に地域差がある）	・移動支援の利用枠を拡大する	障害福祉課	2017年度	支給範囲等の見直し	2017年度末

資料4-4
子ども

No	困りごと（事象）		原因 （分析）	どうやったらクリアできるか （仮説）	具体的な取り組み			評価 予定時期
	内容	誰が			誰が	いつ	どうやって	
子1509	医療ケア児の利用できるサービスが少ない。	親（家族）	・医療ケア児が使えるサービスが少ない	・必要なサービスに関する情報を適切に知ることができる	子ども部会	2015年度	資源マップの作成	『1601』に統合
子1510		支援者	・看護師の配置義務がない事業が	・制度上の人員配置を見直す	障害福祉課	2017年度	行政計画に反映	
子1601	医療ケア（吸引・気管切開・胃ろう等）の必要な子どもが利用できる保育所がない。	親（家族）	・保育所に医療ケアの整備が整っていない	・保育所の整備が進む	子ども部会	2017年度	協議の場を設ける	2017年度末
子1602	発達に偏りのある子どもが使えるサービスの一覧表がほしい。	支援者 親（家族）	・柏原市内で利用できる公的サービス・医療機関・事業所・教室などの一覧表がない	・サービス一覧表を作成する	子ども部会	2020年度	部会で検討	2020年度末
子1603	療育機関（心理・OT・PT・ST等）がすぐに利用できない。	相談機関 親（家族）	・療育機関の数が限られている ・療育機関の定員がいっぱいである	・療育機関の数を増やす ・療育機関の定員を増やす	子ども部会	2017年度	社会資源の創設に努めるよう、呼びかける	2017年度末
子1604	相談や療育機関を利用した子どもの状況や検査結果を柏原市全体として把握しにくい。	保健センター 子ども未来部 教育委員会 療育機関	・情報を共有するシステムがない	・市として情報を共有するシステムを構築する（個人情報の関係で難しいか？）	子ども部会	2020年度	相談支援ファイル『かしわらっこ』の運用を推進する	2020年度末
子1605	発達に偏りのある子どもを持つ保護者が不安や悩みを抱えている。	親（家族）	・保護者同士が交流できる場が足りていない	・就学前相談会の実施	子ども部会	2017年度	子ども部会主催で実施する	2017年度末
子1606			・相談窓口は複数あるが、必要の人に情報が届いていない	・相談窓口を広く知ってもらう機会を設ける	子ども部会	2020年度	子ども部会で検討	2020年度末
子1607	発達に偏りのある子どもとの接し方を勉強する機会がほしい。	支援者 親（家族）	・子どもとの接し方を学ぶ機会が足りていない	・研修会・勉強会の実施	子ども部会	2018年10月 （年1回ほど）	講演会を実施	2018年度末

No	困りごと（事象）		原因 （分析）	どうやったらクリアできるか （仮説）	具体的な取り組み			評価 予定時期
	内容	誰が			誰が	いつ	どうやって	
子 1608	発達に偏りのある子どもが集まって楽しめる機会が少ない。	親（家族）	・発達に偏りのある子どもを対象にしたイベントが少ない	・イベントの開催	子ども部会	未定	イベントの開催	2020年度末
子 1609	地域への障害理解を広げていきたい。	支援者	・地域への障害理解を広める効果が期待されるから	・自立支援協議会主催の講演会等で、協議会のことや障害理解についての内容を盛り込む	子ども部会	研修会実施の際	啓発の内容を盛り込む	2019年度末
子 1610	地域の課題を抽出・共有する機会が少ない。	親（家族） 支援者	・地域の課題を聞き取る場がない	・地域の課題を聞き取る場を設ける	子ども部会	2017年度末	『つぶやきシート』の導入	2017年度末
子 1701	医療的ケア児の課題について協議する場がない	親（家族） 支援者	・柏原市内に医療的ケア児の課題について協議する場がない	・柏原市内に医療的ケア児の課題について協議する場を設ける	障害福祉課	2018年度	子ども部会を『医療的ケア児の協議の場』と位置付け、課題について検討する	2018年度末
子 1702	就学に向けて、相談や情報が得られる場がほしい	親（家族）	・就学に関する情報を聞く機会が少ない	・就学説明会と就学懇談会を実施する	子ども部会 教育委員会	2018年5月 2018年9月	就学説明会、懇談会を実施	2018年度末
子 1703	発達に偏りのある子どもが大きくなったときの様子やサービスを、子どもに携わる支援者が知らない	支援者	・子どもに関わる機関や事業所が大人の事業所を見学する機会がない	・大人の事業所の見学会を実施する	事務局	2019年度	定例会等で部会同士が交流する場を設ける	2018年度末
子 1704	進学（中、高、大）に向けて、相談や情報が得られる場がほしい	親（家族）	・就学だけでなく、進学についても不安を覚えるご家族が多いが、情報を得られる機会が少ない	・進学に関する情報を得られる機会を設ける	子ども部会	未定	情報提供を行う機会を設ける	2020年度末
子 1801	支援者が、子どもが成人になったときの生活を知りたい。	支援者	・子どもの機関や事業所が大人の事業所での過ごし方を知る機会がない。	・部会を超えた事業所の見学会を実施	事務局	2月ごろ	事務局で柏原市内の機関・事業所の見学会を企画する。	2019年度末
子 1802	放デイ等の利用の在り方に関して、家族とずれが生じている（子どもの発達を促すためか、家族の時間を確保するためか）	支援者	放デイ等のサービスが充実するにつれ、家族の時間を確保するための利用が増えていると感じる。	・ケースにより、事情は様々であるため、一概には言えないが、そういった課題があることを関係機関で共有する	子ども部会	2019年6月	子ども部会の場で意見交換の場を設けた	2019年度末
子 1803	学校に行きづらくなった児童の行き場がほとんどない	本人 親（家族）	学校に行きづらくなったとき、家以外に過ごす場所が制度上ほとんどなく、家で過ごす時間が増え、本人の精神的な負担になったり、生活のリズムを崩しやすい。	・なぜ、学校に行きづらくなるのか、どうすれば児童のより良い生活につながるのか議論の場を設ける	子ども部会	2020年度中	子ども部会の場で意見交換の場を設ける	2020年度末

2020年度

子ども 部会

Check（確認・評価）…2021年3月

No	具体策	評価日	実行してどうだったか (検証)	クリア（終了）/持ち越し	理由（持ち越す場合は新たな仮説を立てて記載）
子1501	具体的に検討し直す	2015年度末	未実施	クリア（終了）	くらし部会で検討する課題となった為。
子1502	相談支援ファイルかしまわらっこ作成	2015年度末	かしまわらっこ作成して配布完了	クリア（終了）	今後、内容の追加・改定及び、運用の仕方の検証が必要。
子1503	教育委員会への打診	2015年度末	実施	クリア（終了）	子ども部会の会合で教育委員会へ打診した。
子1504	行政間での調整	2015年度末	未実施	クリア（終了）	行政間（教育委員会や障害福祉課）で検討するも、管理・運営面等の理由で難しいと判断された。
子1505	資源マップの作成	2015年度末	ワークシートにまとめた	クリア（終了）	資源を知る共通ツールが完成した為終了。今後はかしまわらっこファイルに添付する等検討を行う。
子1506	中核的な療育を担う場所の創設を行政計画へ反映する	2017年度末	第5期障害福祉計画に『児童発達支援センター設置』が盛り込まれていた。	クリア（終了）	設置に向けて自立支援協議会子ども部会として協力する。
子1507	医療職がバスに添乗できるように協議の場を持つ	2017年度末	未実施	クリア（終了）	『1701 医療的ケア児の課題について協議する場がない』に統合する
子1508	支給範囲等の見直し	2017年度末	府に要望をあげている	クリア（終了）	今後も支給範囲等の見直しを、国や府に要望し続ける。
子1509	資源マップの作成	2015年度末	未実施	クリア（終了）	『1701 医療的ケア児の課題について協議する場がない』に統合する
子1510	行政計画に反映	2017年度末	未実施	クリア（終了）	
子1601	保育所の医療ケアの整備について協議の場を設ける	2017年3月	未実施	クリア（終了）	
子1602	サービス一覧表の作成を部会で検討する	2020年度末	未実施	継続	サービス一覧表の作成の必要性は子ども部会内でも認識できているが、実際に一覧表を作成する時間が確保できていない。
子1603	療育機関の数や定員を増やすよう、地域の事業所に呼びかける	2017年3月	子ども部会で呼びかけた	クリア（終了）	今後も定期的に部会内で呼びかける。
子1604	市として情報を共有するツールとして、相談支援ファイル『かしまわらっこ』の運用を推進する	2020年度末	イベント時にファイルの説明と配布を実施	継続	就学説明会、就学前座談会のときにファイルを持っている人には持参してもらい、運用方法について説明を行った。また、ファイルを持っていない人で希望する人にはその場で配布した。次年度もファイルの運用を促していく
子1605	子ども部会主催で就学前相談会を実施する	2017年3月	教育委員会協力のもと、『就学説明会』を実施し、数名の参加があった。	クリア（終了）	2018年度は5月に就学説明会、9月に就学懇談会を実施する。
子1606	相談窓口を広く知ってもらう機会を子ども部会で検討する	2020年度末	未実施	継続	子ども部会として他の課題を優先したため、取り組むことができなかった。
子1607	子ども部会主催で、研修会・勉強会を実施する	2019年3月	2018年12月に、事業所の事例報告会を実施し、西村小児科の先生にコメントーターとして参加してもらった。非常に好評であった。	継続	隔年で研修会と事例報告会を実施する。2019年度は研修会を実施する。
子1608	子ども部会主催でイベントを開催する	2020年度末	未実施	継続	未定
子1609	地域向けの講演会を実施する	2019年度末	障害理解のための啓発を目的とした研修は実施できていないが、部会主催の研修会等の後に、自立支援協議会の説明や障害理解のための内容を付け足した。	クリア（終了）	今後も、啓発を目的とした講演会を実施するのではなく、自立支援協議会主催の他の講演会等で、協議会の説明や障害理解のための内容を盛り込み、啓発としていく。
子1610	地域の課題を聞き取るために、『つぶやきシート』を子ども部会参加の機関・事業所に配布し、現場の課題を聞き取る	2017年3月	2017年度に子ども部会出席の機関・事業所から課題抽出を行った。	クリア（終了）	今後も継続する。

No	具体策	評価日	実行してどうだったか (検証)	クリア（終了）/持ち越し	理由（持ち越す場合は新たな仮説を立てて記載）
子 1701	子ども部会を『医療的ケア児の協議の場』と位置付け、課題について検討する	2018年度末	2019年2月の部会を『利用的ケア児の協議の場』とし、課題について検討した。	クリア（終了）	今後も継続する。また、新たに医療的ケア児の具体的な解決策をどう実施するか、今後が必要。
子 1702	就学説明会、懇談会を実施	2018年度末	2018年6月に就学説明会を、10月に懇談会を実施した。多数の家族が参加し、不安の軽減につなげることができた。	クリア（終了）	今後も継続する。
子 1703	定例会等で部会同士が交流する場を設ける	2018年度末	2019年3月の定例会で、ケース検討会を実施し、部会を超えた交流の場を設ける。	クリア（終了）	今後にも必要に応じ継続する。
子 1704	情報提供を行う機会を設ける	2020年度末	未実施	持ち越し	子ども部会として他の課題を優先したため、取り組むことができなかった。次年度は就学説明会等で相談窓口を周知する
子 1801	部会を超えた事業所の見学会を実施	2019年度末	事務局を中心に、2020年2月に実施した。成人と児童の事業所スタッフそれぞれがお互いを知る機会となった。	クリア（終了）	今後にも必要に応じ継続する。
子 1802	ケースにより、事情は様々であるため、一概には言えないが、そういった課題があることを関係機関で共有する	2019年度末	子ども部会内で提議があり、意見交換する機会を設けることができた。	クリア（終了）	
子 1803	なぜ、学校に行きづらくなるのか、どうすれば児童のより良い生活につながるのか議論の場を設ける	2019年度末	未実施	持ち越し	今後、部会内で一つのテーマとして議論する。